

「言葉でリズムアンサンブル♪」 (4時間扱い)

授業者 山城佳美

1 題材の特徴

学習内容の系統性

音楽科における音楽づくりの活動は、「音遊びや即興的に表現する」活動と、「音を音楽へと構成する」活動で構成されています。それぞれの内容については、低・中・高の2学年ごとに示されていますが、低学年から中学年への移行時に大きなステップ変化があると言えます。一点目は、「音遊び」から「即興的に表現」する活動へと拡張していくことです。二点目は、音やフレーズの「つなげ方」に「重ね方」という視点が加わることです。中学年の入り口期と言える3年生での活動がそれ以降の学年の学びへとつながっていきます。

指導法

小学校学習指導要領
解説音楽編 p72, 75

「中学年では、即興的に表現する活動や音を音楽へと構成していく活動を通して、児童がいろいろな表現の仕方を試しながら、音楽をつくる楽しさを味わうことができるように指導することが大切である。」とあるので、試しながらつくる過程を大切に指導することが大切です。また、「どのようなよさや面白さがあるのかについても、全体で共有していくことが大切である。」とあることから、全体での共有場面を適宜設けていく必要があります。

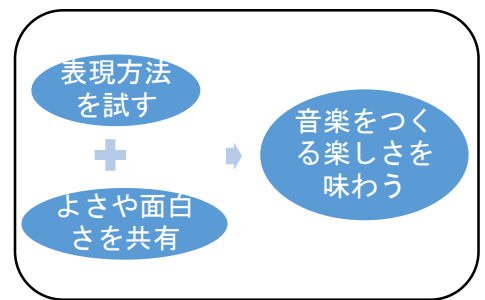


図1 音楽づくりの指導

本題材の目的

本題材は、「ボイスアンサンブルで附属山動物園をつくろう!」というゴールを設定し、言葉でリズムアンサンブルする活動を行います。言葉のリズムの重ね方と強弱や速度などの「音楽を形づくっている要素」を視点とした音楽づくりを行うことと、友達の表現の工夫の面白さや良さに気付く力を育むことの2点を目的とします。

教材開発の視点から見る音楽づくりの活動モデル

尾藤弥生(2014)

音楽づくりにおける教材開発の視点として、「学習者が分析、総合を繰り返すことのできる教材、教材から多様な推理や思考、判断ができる教材が望ましい」としています。

中村美雪(2015)

また、「だれもが主体的に参加できる条件として、「見通しを持つこと」と「表現したいという欲求をもつこと」を挙げています。

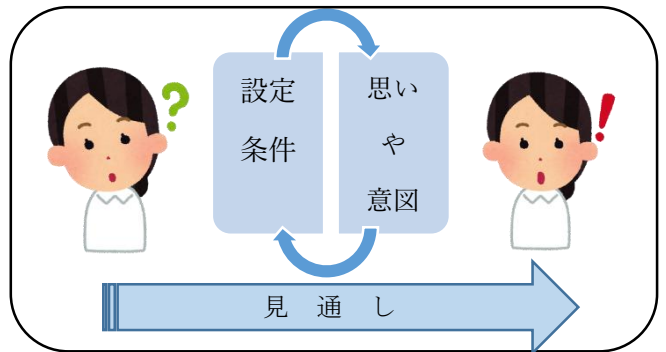


図2 音楽づくりの活動モデル

これらを総合すると、子供が「見通しを持って取り組み、思いや意図を膨らませ、進んで表現したいという状況」を整える必要があります。その際に必要となるのが、学習指導要領にも示されている「設定条件」です。「設定条件とは、様々な音を即興的に選択したり組み合わせたりする際の約束事であり、音楽づくりの発想を得るために、必要不可欠なもの」とあります。

小学校学習指導要領
解説音楽編 p76

このように、子供にゴールイメージを明確に持たせながら、教師が的確な設定条件を示し、思いや意図をもちながら音楽づくりに取り組める指導の工夫が大切です。

中心となる概念

今回は重ね方に視点を置いた音楽づくりを行います。そこで、設定条件の例としては、「全員」「リレー」「ふやし」「へらし」の4つを提示し、それらを参考としながら自分たちの音楽づくりに取り組みます。この取り組みは、友達の良い重ね方や面白い重ね方に気付くという活動につながっていきます。

2 本題材の目標と学習内容を身に付けた姿、具体的支援（課題設定、追究、パフォーマンス、メタ認知）

目標 言葉のリズムパターンを使ってグループで重ね方を工夫し、友達表現のよさに気付く。
本題材で鍛える見方・考え方 言葉でつくるリズムアンサンブルを、言葉のリズムの重ね方や強弱、速度などの「音楽を形づくっている要素」の視点で捉え、友達とともにつくり表現し、その表現のよさに気付く。

「子供が学びをつくる」ための具体的支援



メタ認知を促す他者の多様な表現に触れ、「聴く」意識を高めるための交流形態

3年生の発達段階では、メタ認知を促すうえで「他者意識」を持たせることが重要であると考えます。他者の思いや考えに触れ、それを受け止め理解しようとする中で、自分の考えとの相違に気づき始めるのです。

そこで、音楽の授業では、他者の多様な表現方法に触れることを目的とした交流形態を取り入れます。一つは、「回転寿司交流」です。これはローテーション方式で他グループの工夫を実際に体験してみるために行います。そうすることで、自分たちのつくった音楽との相違点が明らかになり、他グループの表現の良さや面白さに気づき、その後の音を「聴く」活動に深くつながると考えます。

もう一つは、「グループ間交流」です。これは交流規模を縮小し、他グループの重ね方の意図や工夫をより近くで感じ取りやすくするために行います。その時に感じた良さや面白さを視点として全体交流へとつなげていきます。このように、ねらいに応じた交流形態を工夫することで、自他の考えの相違点に、より気づきやすくし、「聴く」意識を高めていきます。

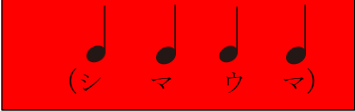


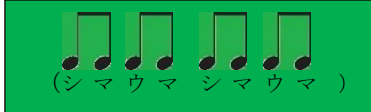
グループ追究する際の教具の工夫

グループでリズムの重ね方を追究する際には、ホワイトボードを使ったテープ図を用います。自分が演奏する小節にカラーマグネットを貼り、グループ全員がわかりやすいように視覚化を促します。これにより、設定条件としての「全員」「リレー」「ふやし」「へらし」といった重ね方のパターンが明確なものになります。また、これは「回転寿司交流」を行う際にも役立ち、他グループの子供たちがそのグループのつくったリズムや重ね方を再現可能なものにします。

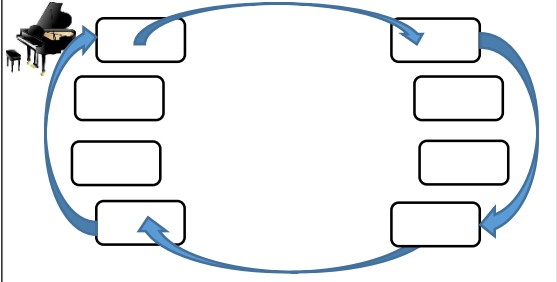
本題材の学習内容を身に付けた姿

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
リズムの特徴を理解して、重ね方のパターンを生かしたリズムアンサンブルをつくり出している。	言葉のもつリズムを聴き取って組み合わせたり重ねたりしながら、どのような音楽をつくるかについての思いや意図をもっている。	言葉のリズムやその組み合わせに興味を持ち、友達の表現のよさに気付くことができる。

4 指導計画

時	子供の学習活動（○），教師の支援（課題，追究，パフ，メタ）																																																																
1	<p>○活動の見通しをもつ。（㊟「ボイスアンサンブルで附属山動物園をつくろう！」）</p> <p>課題 学習の見通しをもてるよう活動全体の流れを説明する。</p> <p>○「シマウマ」を例に言葉でリズムを即興的に表現する。</p> <p>追究 一つの言葉から色々なリズムパターンが作れることに気付くために即興でリズム表現し，その中から本題材で用いるリズムパターンを4つ提示する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(シ マ ウ マ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(シマウマ シマウマ)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(シー マ ウマ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(シマウマ シマウマ)</p> </div> </div> <p>○全体で重ね方のパターンを示して実際に試し，その効果を味わう。</p> <p>追究・パフ 様々な重ね方によるリズムの重なりを感じ取るために，いくつかの重ね方のパターンで表現する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【全員】</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 40px;"> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【リレー】</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 40px;"> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> </table> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【ふやし】</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 40px;"> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【へらし】</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 40px;"> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td><td style="width: 25px; height: 15px;"></td></tr> </table> </div> </div>																																																																
2	<p>○グループで4文字の動物を決める。</p> <p>例)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アザラシ ・ペンギン ・オオカミ ・フクロウ ・ライオン ・イノシシ ・エゾリス ・カピバラ </div> <p>○グループごとに動物名を使ってリズムアンサンブルする。</p> <p>追究 視覚的にわかりやすくするために，大きなホワイトボードにテープ図を用いて重ね方を考えるよう促す。</p>																																																																
3 (本時)	<p>○グループでつくっているリズムアンサンブルを完成する。</p> <p>追究 視覚的にわかりやすくするために，大きなホワイトボードにテープ図を用いて重ね方を考えるよう促す。</p> <p>○グループごとの重ね方を交流する。</p> <p>メタ 自分たちとの相違点，他グループの良さや面白さに気付くために，他グループの重ね方を体験する「回転寿司交流」を行う。</p>																																																																
4	<p>○よりよい表現を工夫する。</p> <p>追究 よりよい音楽表現を工夫するために，前時に交流したことを生かしながらさまざまな表現をつけ加えるよう促す。</p> <p>メタ 表現の工夫をより近くで感じ取るために「グループ間交流」を行う。</p> <p>○学級全体でつなげて演奏し，ボイスアンサンブルで附属山動物園をつくる。</p>																																																																

5 本時案 (3/4)

本時の目標 ボイスアンサンブルを通して、重ね方の工夫に気付く。	
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆, 課題, 遊, 声, 声) と評価 (◇)
<p>○ 常時活動を行う。</p> <p>○ 前時までの確認をする。</p> <p>○ 課題を立てる。</p>	<p>☆ 「言葉でリズム」や「重ね方」の要素を含めた活動を行う。</p> <p>課題 全員が共通の課題意識を持てるよう、前時までの活動の流れを確認する。</p> <p>☆ 「重ね方」に着目できるよう、キーワードを空欄にして強調する。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>◎ ④⑤⑥をくふうしてボイスアンサンブルをつくり、他の班のくふうを見つけよう！</p> </div>	
<p>○ グループでアンサンブルをつくる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まず「全員」で重ねてみたらどんな感じになるかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「ふやし」にすると、だんだん盛り上がる感じになるかな？</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「ふやし」たり「へらし」たりすると、どんな感じになるかな？</p> </div>	<p>☆ 前時の活動の流れを大切にするために、前時の重ね方を想起できる声掛けをする。</p> <p>遊 重なりを視覚化できるようにするために、自分が演奏する小節にカラーテープを貼り、試しながら決めるよう促す。</p> <p>◇ どのように言葉のリズムを重ねていくかについての発想を持っている。【思・判・表】</p>
<p>○ 回転寿司交流をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自分たちの班と同じ重ね方だ！理由を聞いてみたい！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>この班の重ね方は面白いね！細かいリズムを重ねているね！</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>この班は、「ふやし」と「へらし」をうまく組み合わせているね！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>似ている重ね方でも、使う言葉によって聞こえ方は違ってきそうだね！</p> </div>	<p>◇ どのように言葉のリズムを重ねていくかについての発想を持っている。【思・判・表】</p> <p style="text-align: center;">〈回転寿司交流の方法〉</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>○ 気づいたことをワークシートに記入し、交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○班の重ね方が自分たちとはちがって新しいと思った。こういう重ね方もいいと思った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○班の重ね方が面白かったから、今度自分たちでつくる時には使ってみてみたいと思った！</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>○班のように、4人ばらばらのリズムを重ねるだけでなく、使うリズムをいくつかに限定することで、すっきりした感じに聞こえると思った！</p> </div>	<p>遊 他グループの工夫に気付くために、体験する場を設ける。</p> <p>☆ 自分が印象に残った班にシールを貼って回るよう促し、その中の1つの班について気付いたことをワークシートに書くよう促す。</p> <p>☆ ワークシートに書いた内容を基に交流を進める。</p> <p>◇ すずんで友達の表現のよさに気付くことができている。【学】</p>
<p>○ 次時の見通しを持つ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>強弱とか工夫してみたら、また違った感じになるかな？それも交流してみたいね！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>全部の班の作品をつなげて演奏してみたらどうかな？一つの動物園になって面白そう！</p> </div> </div>	<p>☆ 音楽を形づくっている要素などに注目して次時の活動を見通せるよう、本時の活動を振り返るとともに、本題材のゴールを想起させる発問をする。</p>

